



「ときめき坂保険ホットライン」vol. 26

こんにちは。今回はごあいさつ文なしのいきなりの本文です。他のスタッフに言って無理やりスペースをもらいました。長編もんです。

実は、去る5月16日に、以前の「ざっくばらん第2号」にも登場しました「うちの親父」がガンで亡くなりました。享年83歳です。

「ざっくばらん第2号」で書かせていただいた内容はといいますと、平成14年12月に「うちの親父」は、大腸がんで入院しました。約一ヶ月の入院の後、某外資系保険会社で加入している「ガン保険」に請求をしました。おおよそ200万円くらい保険金が給付されるはずだったようです。しかしその「大腸がん」は、いわゆる「初期のガン」だったため支払いをしてもらえませんでした。なぜかと申しますと一部の保険会社のガン保険は、上皮内がんと呼ばれる初期のがんは保障されないんですね。

「皆様のがん保険もチェックしてくださいね！」って事を以前書きました。

あれから、6年半が経ち本人も以前にがんを患ったのを忘れていたかのように元気に過ごしていました。一度がんを患ったら定期的ながん検診するのは鉄則のはず。しかし、いい加減な健康診断だけしてみたいなんです。

4月の中旬のある時、黄疸が出たために病院で検査することになりました。どうやら胆管が詰まっていたらしいです。それだけで事がすめばよかったのですが、すい臓が腫れて胆管が詰まっていたようです。じゃあなぜすい臓が腫れているのか？・・・。

いやな予感の中です。すい臓がんです。しかも肝臓に転移していて「余命3ヶ月」いきなりです。

我々家族は、このことを親父に告知するか、しないか？ 選択は「告知しない」でした。

やはり、まったく治る見込みがないのに「告知をする」って言う選択はどうしても出来なかったんですね。しかも年が年ですからね。ですから、親父にはずっと「胆管が詰まってるんやからこれを手術したら治るんちゃう」ってな事をしらしらしく言ってきましたが、おそらくこの時点で親父はガンで残された命が短かって事をわかってたんだと思います。家族で親父を見舞いに行った時、帰り際に私に「カメラもってこい」って言うんです。それで私の息子と娘を両脇に呼び寄せ「写真を取れ」って言うんですね。めちゃ苦しいのに精一杯の笑顔を作ってるんですね。

その後、胆管の手術をしてからも日に日に病状は悪くなるばかりでしたが、ゴールデンウィークも重なりなかなか入院させていただけず、やっとの思いで連休明けから入院させていただきました。

いきなりの「集中治療室」です。激痛に耐え苦しんでる姿を見るのは本当に辛いものです。

ここでもお医者さんからの非情な2者択一質問が待っていました。

「自然に任せられますか」「延命措置をとられますか？」

きついですね！家族にとっては強烈な質問でした。回復の見込みなし。83歳。

答えは前者でした。

苦しむ顔を見たくないあまり、何度か「モルヒネ」の投与をお願いしました。「モルヒネ」を投与すればするだけ「死」に近づいているってそのとき初めて知りました。

よく言いますよね。「お年寄りのがんの進行が遅いから」って。うそ！うそ！メチャ早かったです。入院してから1週間のあっという間でした。

親父は人生83年の幕を閉じました。

昔、日本海軍特攻隊でいよいよゼロ戦に乗って出撃という時に「終戦」を迎えて命拾いをした、とよく聞かされました。だからこそ「生きる」ことに人一倍執着してきたにもかかわらず最後はあっけなかったですね。

親父の死に関わり、我々「保険コンサルタント」として何が出来るのかって事を真剣に考えました。

保険だけじゃなく、「がんにならないためにどうしたらええん？」とか。もし皆様ががんになられた時にお客様と一緒にがん闘う「がん治療支援者」になれないか。と・・・。

最新のがん治療知識、さまざまな情報提供や心のケアなど。

我々の仕事って「保険を売る」のが目的じゃなくやっぱり「安心」を売るなんじゃないかね！



ちなみに、親父が亡くなった5月16日午後0時は、1年前にこれまた「がん」で亡くなった兄貴の一周忌納骨の日で、お骨を収めたまさにその時でした。

(代表取締役 菅生 正)

中澤好夫の

なんでもありのきゅうたもん勝ち



最近テレビや雑誌を見ると若者の農業に対する関心が高まっているみたいですね。農家への就職希望者が急増してるらしく倍率がものすごいのだとか。現在の不況が影響してるのでしょうか？でも農業に興味を持つというのは素晴らしいことだと思います。そういう僕も実は少しだけ農業に憧れていたりします。小学校3年生の時の担任の先生が、顔がキュウリみたいな形だということで、僕らに「キュウリ」という非常に小学生らしい、安直なあだ名をつけられて、それがキッカケかどうかわかりませんが、農業部などという決して誰も入りたがらないようなクラブを作ってしまう、何故か「中澤、お前キャプテンや」と子どもの意思を全く尊重しない勧誘のもと、それこそキュウリを栽培してました(笑)

でもいざ始めてみるとこれがなかなか楽しいんです。自分で作ったキュウリのうまいこと……。それ以来いつか野菜を作ってみたいなあとは思っていたんですが、なかなかキッカケがなくて。たまにお客様に「今日、家でとれた野菜やで」といろいろ頂戴することがあります。やはりおいしいです。そこで5月くらいに小さなプランターでミニトマトの栽培を始めました。今、トマトを甘くする土とかトマトを甘くする肥料とかあるんですね。「なんか腑に落ちんな……」と思いながらも使ってます(笑)で、いまではほんとにブドウみたいに実がなり始め、少し赤く色づいてきました。なんか「小さな感動」です！ただ、赤くなり始めたらすぐにカラスに食べられてしまいます。どなたか対処法教えてください……。

あなたにもヘルシーあげたい

一日焼けを防いで美肌を保つ

以前は小麦色に焼けた肌といえば健康的なイメージがありましたが、(小学生の頃、夏休み明けに日焼けコンテストがあって、けっこういいところまでいった記憶があります……。)最近「紫外線はお肌の老化をまねく美肌の大敵」というのが常識になってきています。

日焼けによる皮膚のダメージを回復させるにはビタミンCが有効ですが、かといって一度に大量にレモンを食べて直接日光を浴びると、逆にシミができやすくなるそうなので注意が必要です。レモンに含まれるソラゲンという物質が原因ですが、他にもパセリ、セロリ、春菊、みつ葉にも含まれるので、海や山に出かける日は、大量に食べることは避けた方が良さそうですね。

他にもアルコールを飲んだ時や、アルコールが体に残っている時も日焼けしやすくなるので、海辺やキャンプでビールをグイッといきたいところですが、お肌のことを考えると我慢が必要かもしれません……。

また海水浴場では、海水が肌についたまま日に焼けると、塩分が肌荒れの原因となることもあるので、海辺で休むときはシャワーで海水を洗い落とすようにしましょう。

女性だけでなく、男性もお子様もこまめに日焼け止めを塗り、日焼け対策をしっかりとって、夏のイベントを楽しんで下さいね！



(清水)

高校球児の夏

暑い日が続いていますが、皆様夏バテは大丈夫でしょうか。先日、私は高校野球の京都府予選会を観戦に行きました。どの高校を応援するという訳ではないのですが、毎年滋賀や京都の予選会と甲子園に行っています。



今まで見てきた中で特に印象に残ったのが二年前のある試合です。投手戦の末、惜しくも敗れたチームのほとんどの選手が泣き崩れていたのですが、キャプテンだけは笑顔で泣いていました。次の日の新聞にそのキャプテンの談話が載っていました。高校一年生の時に父親をがんで亡くし、スタンドでは母親が父の写真を手に観戦していたそうです。

その記事を読み、キャプテンの笑顔の意味を知った私は心をうたれました。野球を続けさせてくれた母親に対する感謝と、甲子園出場という夢は叶わなかったけれど、亡き父の思いを胸に精一杯プレーできたという達成感が笑顔の涙になったのでしょうか。三年間野球をして、最後の大会で元気にプレーする、これが両親に対する最高の親孝行になったんじゃないでしょうか。

これから甲子園では熱戦がくりひろげられると思いますが、各家庭のドラマにも関心を持ち熱い声援を送ろうと思います。



(大西)

一暑さ対策は万全ですかー

梅雨も過ぎ、祇園祭も終わると、ようやく京都独特の暑い夏本番がやってきたという感じです。

小さいころ親に手を引かれて祇園祭りに出かけたことを懐かしく思い出しながら、今では私が子供の手を引いて、「あれが〇〇鉾だよ、◇◇山だよ」と、説明しながら夏を感じています。

子供は鉾よりも、屋台の方に興味があるようですが・・・。

ともかく、これからの暑い夏をどう乗り切るか、どう対応していくかを考えましょう！！

やっぱり、注意しないといけないのが、熱中症ですね。昨年も不幸にしてサッカーの練習中に熱中症になり、そのまま亡くなられた子供さんの記事を目にしました。私の子供もサッカーをしているので、心配でついつい、お医者さんからの「喉が渇く前に水分を摂取しなさい」という言いつけを口やかましく言ってしまい、子供にうるさがられています。

ところで、みなさんは傷害保険でも、熱中症に対応できることをご存知ですか？特にお子様をお持ちの方は、保険証券を見て「熱中症危険担保特約」という特約が付いているかどうか再確認されることをおすすめします。

毎年、熱中症で死亡したり、病院へ搬送される事故が増加していることを考えると、大切なお子様を守るため、いざというときに対応できる内容になっているか確認することも親の責任ですよ。もし、保険証券を見てもよくわからないという方はお気軽にお問い合わせ下さい。(吉岡)



自動車保険料最大3割値上げ？！

先日の新聞各紙に気になる記事が記載されていましたので皆様に報告させていただきます。なんと、9年ぶりに各保険会社が自動車保険料を決めるときの基準にしている「参考純率」が、引き上げられました。

一説によると、少子高齢化による若者の車離れや高齢者の事故の増加等により、保険会社的には「車は売れてないけど支払は増えてて、結果、経営を圧迫してますから値上げで対応します」といったところでしょうか。

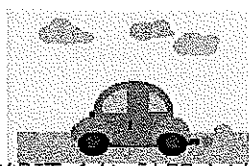
また、損保各社は2010年度以降、一斉値上げするのでは！とも記載されています。私自身は、値上げすればすむという問題ではない時期に来ているように感じていますけどね。。。

こんな記事を読んでいて、我々代理店が何かメリットになることをアドバイスできないかなと考えてみた結果・・・

1. 契約保険会社、契約者は違えど同居の家族で3台以上契約している。
2. 60歳以上の方が運転する自動車がある。
3. 値上げ時期までに満期になる契約がある。
4. 現在ゴールド免許である。 などなど

以上に当てはまる方は、値上げ前に対処するところこうメリットがあると思います。興味がある方は一度我々スタッフに連絡頂るか、訪問させて頂いた時にぜひ質問してみてください。

(株式会社インシュアランスプレーン京都 河島 清)



平 麻理子の 心・理・学 入門 ♥

みなさま、はじめまして。4月よりインシュアランスプレーンの一員となりました、平 麻理子と申します。ただいま京都中央支店で事務サポートとして、少しでもみなさまのお役にたてるよう日々頑張っております。どうぞよろしくお願いいたします。

さてさて、みなさまは「平麻理子の心理学入門」という見出しをみてどんなイメージをもたれましたか？私は友人から「心理学の勉強してんね〜ん」と聞いた時、正直「うさんくさい」と思っていました(笑)。そんなワタクシが前職時に心理学は使える！！と感じ7年間も民間の学校で心理学を学んでしまうことになるとは自分でも驚きです☆。まあそんなこんなでワタクシが学んできた心理学の一部を、今後はこの場所をお借りしてお伝えしていきたいと思っております。

今回は「勇気付け」について私の体験を踏まえてほんの少しだけお話したいと思います。前職での私の職務は従業員のやる気を向上させることでした。しかし何度も失敗すると同じ事に挑戦するのは怖いもの。「大丈夫やからやってみなさい」では中々人は動かさず(涙)。そんな時に、アドラーという心理学者の「困難だとしても、君がやろうと思うなら前に進みなさい」という言葉を知りさっそく使わせて頂きました。「困難は克服できない課題ではなく、自分の人生の課題である。」なんと！！止まっていた従業員が立ちあがったのです(嬉)。捉え方によって感情・行動が変わるとは、まさにこのことですね。そして「誰の中にも成長したいという気持ちがある」と信頼して目の前の人にかかわることで、人は前進するんだ！と私も感動した体験でした。

みなさまが、日常で実践してるよ〜という「心理学」があれば、ぜひともお聞かせてください♥

お客様の声は天の声 当選者はこちらです！！

☆保険屋さんの新聞だし・・・どうせ難しい事ばかり載ってるんやろ・・・と軽く読んでたら・・・中澤さんの旅行日記よかったです。ちょうどGW中で我が家はGW明けにどっか行きたいなと話していた所だったので広島→愛媛→香川 行ってみたくになりました。・・・で・・・水道の蛇口からポンジュース^{tt} 体験されたのでしょうか、気になる・・・(*^_^*) 我が家の担当をしてもらったのがたぶんこちらの中澤さんだろうと思いますが、とてもわかりやすく説明していただいた上、別件で相談にのってもらった時も親身になって話を聞いてくださりとても感じのいい方だと思いました。〔亀岡市 N・U様〕

(編)「水道の蛇口からポンジュース」は残念ながら見付けられず体験できませんでした・・・

N・U様はいかがでしたか？またN・U様の旅行日記を聞かせて下さいね。

☆嬉しいお心遣いありがとうございます。御社と契約しました5月13日は私共夫婦の入籍記念日でもありました。頂いたお手紙を妻に見せ気付きました(汗)入籍1年目で家族のために生命保険に加入したなんて、なんてイイ話でしょうか！・・・偶然なんですけどね(汗、汗)これからも仕事でもプライベートのことでもよろしくお祈りします。〔京都市右京区 林様〕

(編) 家族が増えて守るべきものができ、その責任の証として生命保険に加入した日が入籍記念日だなんて、とても素敵な偶然ですね。毎年記念日に思い出していただけたらうれしいです。

みなさんもしどしどしおハガキをお寄せ下さい。

保険で疑問に思っていること、「ざっくばらん」にこんな記事を書いて欲しい、お勧めの映画、本などなど何でも結構です。思いの丈をぶつけてみてください。

採用された方には小さなプレゼント(着いてからの楽しみ!)を進呈致します。お待ちしております！！

「編集後記」▼今回のざっくばらんは原稿を担当してくれるスタッフが増えたおかげで、内容も盛り沢山になりました。今まで締め切り間近に何を書こうか頭を悩ませていたスタッフにとったら、自分の持ち分のスペースが減って喜んでいいのかも・・・▼そんな中で、唯一ポストだけがあいさつ文もなしのスペース大増量です。それだけみなさまに伝えたいことがあったのでしよう。ガンで昨年は兄を、今年父親を亡くしたのではまさにガン家系。忙しくても日頃から検診を受けてほしいというのが部下の願いです。▼ガンは中高年層の死因第1位で、90秒に1人がガンで亡くなるられています。私の学生時代の友人も十人のうち半数がどちらかの親をガンで亡くしました。ただ、早期発見できればガンも治すことができます。映画が公開された「余命1ヶ月の花嫁」の千恵さんの遺志を継いで、今各地で乳がん検診を受けようというキャンペーンが行われています。みなさんもガンに立ち向かうためにまずはガン検診を面倒がらず受けましょう。(M.S)

・・・お知らせ・・・ 今年もやります！

サマーイベント「栗東さくら」



前回好評を博しました(!?),リビング滋賀主催の夏祭りに今年もカキ氷店を出店することになりました!!

暑さに弱いメンバーばかりですが、気合を入れてがんばりますので、お友達もお誘いの上ぜひみなさんお越し下さい。

■ 日時 2009年8月6日(木)

■ 会場 栗東芸術文化会館さくら

(JR栗東駅 東口より約400m)

(※小雨決行)

※ご連絡下さい※

- もうすぐ結婚される方、ご出産間近の方、引越し予定の方 はいらっしゃいませんか？ 同封の「天の声ハガキ」にてお知らせ下さい。必ず「ざっくばらん」や弊社への感想、ご意見等を書いて下さいね。ささやかなプレゼントを差し上げます。
- ざっくばらんのバックナンバーご希望の方、お店の宣伝をしたい方などなど。

お待ちしております！

ざっくばらん編集部連絡先 フリーダイヤル 0120-522-245
FAX 077-567-0106

